



新型コロナウイルスワクチンに関する調査への協力について

新型コロナウイルスワクチンについては、ワクチン接種有無とその後の感染や有害事象との因果関係を定量的に検証するシステム構築が求められているところですが、この度、九州大学大学院医学研究院 福田 治久 准教授から呉市にワクチンの有効性・安全性評価に関する調査研究に係るデータ提供依頼がありました。

この調査研究は、九州大学が国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）のワクチン開発推進事業等により支援を受けて実施されるもので、この調査研究に対して厚生労働省から対象となる自治体に対しても協力依頼がされております。

今後の新型コロナウイルス感染症対策及び新型コロナワクチン接種事業の推進に資するという観点から、データ提供に同意し、九州大学大学院医学研究院と覚書を交わすこととしましたので、情報提供します。

1 研究目的

ワクチン接種記録システムデータ等を活用した新型コロナウイルスワクチンの有効性・安全性の検証に資する研究開発

2 研究主体

九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座准教授 福田 治久 氏

3 研究概略

ワクチン接種記録システムデータ等をリンクさせ、集団における予防接種とその後の感染症発生等の健康状態との関連性について定量的かつ迅速な評価が可能な体制の構築を目指す。

【研究テーマ】

- ・新型コロナウイルスワクチンの有効性評価
 - ・感染予防効果の評価
 - ・重症化予防効果の評価
 - ・特殊集団における効果の評価、等
- ・新型コロナウイルスワクチンの安全性評価
 - ・アナフィラキシーの評価
 - ・心筋炎/心膜炎の評価
 - ・その他の有害事象の評価、等

4 覚書締結日

令和4年1月26日